

# きずな

2012年12月 6日

NO 912

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

12月3日、井原市議会12月定例会が開会しました。会期は12月17日までの15日間です。3日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行いました。その中で、市政の状況や補正予算の内容等も報告されました。その部分をできるだけ忠実に掲載しました。

## 来年度の予算編成について

国、県の予算編成等が明らかでない現段階において的確な見通しを立てることは極めて困難であり、また歳入面では、震災復興関連等により国・県支出金が引き続き抑制され、さらには市内企業の業績が年次的に大きく変動することから、安定した法人市民税が見込めないなど、自主財源の確保は引き続き厳しいものになると予測されるところであります。

しかしながら、厳しい財政環境の中にあっても、平成25年度は井原市第6次総合計画後期基本計画の初年度であるとともに市制施行60周年を迎えることから、新たなスタートの年と捉え、将来都市像である「美しい自然 息づく文化 笑顔でつながるひと 元気発信都市いばら」の実現に向け、「健康寿命日本一を目指して誰もが健康で笑顔あふれる住みよいまちづくり」のための諸事業を力強く推進してまいりてまいります。

このため、来年度の予算編成にあたっては、情勢の変化に的確かつ機動的に対応しながら、従来にも増して歳出全体の徹底した洗い直しを行い、制度・施策の抜本的な見直しや各経費間の優先順位の厳しい選択を行うことにより予算配分の重点化・効率化を実施し、社会経済情勢の変化を踏まえ緊要な施策等には必要な経費の確保を図ることを基本に予算編成を実施してまいりたいと考えております。

## 市政の状況等について

### 場外舟券売場「ミニポートピア」の設置について

去る11月12日に施設会社から私に対して設置同意申請書が提出され、また、その場に同席された倉敷市よりミニポートピアの施行者となることの表明がありました。

さらに同意申請後には、倉敷市から設置同意がいただけるならば、ミニポートピアの業務を行うにあたり、県警との協議を踏まえながら交通安全対策、治安維持対策、青少年対策、周辺環境の美化対策等について、万全の措置を講じるとの考えが示されたところでありました。

このミニポートピア設置に関しましては、本年2月に地元自治会の同意が得られ、また、9月28日には市議会において「モーターボート競走の場外舟券発売場の設置に関するお願い」の陳情が採択された結果を重く受け止めております。

こうしたことから、今後倉敷市と協議を進めてまいりたいと考えております。

### 第6次総合計画後期基本計画の策定について

平成25年度から29年度までを計画期間とする後期基本計画の策定を、昨年度から進めておりますが、これまでにまちづくり計画推進審議会の市民委員で構成する四つの部会を各6回開催し、前期基本計画の検証や今後目指すべき方向性などについて意見交換をしていただいたところでありました。これらを集約し、後期基本計画策定審議会において素案としてまとめていただきましたので、今議会の全員協議会において概要を説明させていただくことにしております。

なお、今後パブリック・コメント等の手続きを経て、2月に後期基本計画策定審議会からの答申をいただき、審議会のご意見を最大限尊重し計画を策定してまいりたいと考えております。



## 公共交通について

この地域の公共交通を長年にわたり担ってこられた、井笠鉄道株式会社が十月末をもってバス事業を廃止したことに伴い、市民の移動手段への影響を最小限にすべく、関係市町及び関係機関と「井笠鉄道バス路線廃止対策会議」を立ち上げ、対応策を協議してまいりましたところでありました。

ご承知のとおり、現在笠岡線及び福山線の路線バスにつきましては、株式会社中国バスによりまして来年3月末までの暫定運行を、市内循環バスにつきましては、北振バス株式会社が継続して本格運行をしてまいります。

笠岡線、福山線の来年四月以降の運行につきましては、現在対策会議におきまして、協議をしているところでありました。いずれも多く通勤・通学客などが利用しており、特に学生への影響が大きいため、路線の維持に全力を挙げてまいりたいと考えております。

2面へつづく

## 井原産デニムのPRについて

多くの方々に、クオリティーの高い井原産デニムを知っていただくため、勤務時間中にジーンズを着用する「ジーンズデー」の実施や市民の皆さまにデニム素材の綿を栽培していただく「綿いっぱい運動」などの取り組みにより、一定の成果を挙げたところでございます。

さらなるPRといたしまして、「井原産デニムを使った商品化コンテスト」を実施し、既に募集を行ったところであります。

結果、市内外から多くの応募をいただき、今月6日の最終審査で賞を決定することとしております。今後審査で選ばれた作品が売れ筋商品に育つことを大いに期待しているところであります。

## 井原市グラウンド・ゴルフ場について

9月にオープンいたしました井原市グラウンド・ゴルフ場でございますが、利用者が当初の予想をはるかに上回り、去る11月19日には1万人を超えたところであります。市内外から多くの皆さまにご来場いただき、大きな反響で好調な滑り出しとなり、大変喜ばしく思っております。

この施設が、生涯スポーツの拠点として、また各地域のコミュニティーの活性化や世代を超えた交流の場として、引き続き大いにご利用いただければと考えております。

## 第2次井原市生涯学習基本計画の見直しについて

第6次総合計画後期計画の策定に合わせて、第2次井原市生涯学習基本構想・基本計画における基本計画部分及び平成25年度以降の諸施策の推進方針を見直しております。

これまで庁内委員による企画委員会、学識経験者・公募委員による策定委員会での協議を進めてまいりましたが、明日策定委員会から答申をいただくこととしております。

この計画も、総合計画と合わせて、全員協議会で概要を説明させていただくことにしており、その後、パブリック・コメント等の手続きを経て、3月には生涯学習基本計画を完成させたいと考えております。

## 幼稚園の3歳児教育、預かり保育について

現在建設工事を進めております荏原幼稚園で、平成25年度から3歳児教育、預かり保育を開始することとしているほか、県主幼稚園でも来年度から3歳児教育を開始することとし、今議会で補正予算をお願いしているところでございます。



## 工事関係について

先ほど申し上げました荏原幼稚園のほか、稲倉公民館建設工事、B&G井原海洋センターの改修工事を急ピッチで進めているところでございます。

## 予算案件について

議案第66号「平成24年度井原市一般会計補正予算（第5号）」についてであります。今回の補正は、職員の人事異動等に伴う人件費、補助事業の決定によるもののほか、緊急を要するものを主体に所要の措置を講じたところであります。

その結果、補正額は1,770万円の減額となり、補正後の予算総額は206億7,370万円となった次第であります。その主な財源といたしましては、県支出金や地方債などの特定財源を充当いたしております。

以下、歳出の主なものについてご説明申し上げます。

まず、各科目においてそれぞれ人件費補正を行い、総額で7,467万余円を減額計上いたしております。

**総務費**では、地域づくり事業補助金20万円、防犯灯設置費補助金350万円を計上しているほか、国庫負担金等精算返還金1,417万余円を計上いたしております。

**衛生費**では、飲料水供給事業補助金420万余円を計上いたしております。

**農林水産業費**では、新規就農者への就業奨励金10万円、青年農業者の育成対策事業へ150万円、林地災害防止事業に350万円を計上いたしております。

**教育費**では、来年度より新たに3歳児教育を開始する県主幼稚園の備品整備へ60万円を計上いたしております。

**災害復旧費**では、農地農業用施設補助災害復旧費2,700万円を計上いたしております。

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,400円日曜版800円)